

集团的無意識
と
個人的無意識

20241208

エリー



目次

ツイートのコピー	1
----------------	---

ツイートのコピー

集団的無意識と個人的無意識

あるあると新規性

20241208

無意識、深層心理には、プリインストールされたアプリのように、「未経験でも同じことを考える」という意味合いがある。

たとえば、ユングの元型がそうだ。

「集団的無意識」と呼ばれるもので、人類に共通している。

その上に重なるのが、「個人的無意識」で、「見聞きしたもの」「考えたこと」「感じたこと」など、「他人とは違うイメージ」がある。

特に商売柄得られる専門知識が前提となっている場合、本人にしか答えようがない内容となる。

自分が書きたいことが、集団的無意識から来る人類に共通の人間関係や成長に関わる内容なら、他人に補ってもらえる。

しかし個人的無意識の領域で、自分でも体系的に語れないため、作品に反映されていない場合、添削もリライトも困難になる。

「専門知識に当たる部分は聞いて」と言っても、相手にはない知識だから、勝手に変えてはダメな部分分からない。相手から質問して来ることはない。

しかし、微妙に異なる価値観で変えられた内容をまとめ直す構成力、編集力があるなら、そもそもリライトを頼まない。

再編集は困難だ。

結局、「個人的無意識」を企画書で明確にして、無自覚な自分が語れるようにして、構成、編集を自力でする以外に、思い通りの内容にする方法はない。

プロ並みの精度で、構成、描写できていたら、更に良くする工夫はできる。

分かる内容を、よりよくすることは可能だ。

しかし、下手な内容を、プロ並みに直すことは不可能なのだ。

単独でも十分商用レベルなら、意図が分かるし、考察を深めることができる。

個人的無意識が多く含まれて、「分かる人には分かる」みたいな領域で、リライトを依頼

した相手が分からない場合、意図通りになることはない。

「集団的無意識」は、人類に共通なので、「定番要素」「あるある」に該当する。

「個人的無意識」は、人によって違うので、「新規性」に該当する。

定番要素は、「わかるー」になるが、新規性は「どういうこと？」と説明を求められる。

自分のなかでしっかり区別してないと、読者に説明しないと伝わらない部分を間違えるのかも？

集団的無意識と個人的無意識の間には、世代的無意識や地域的無意識がある。

キャラクターのアーキタイプを把握することは、集団的無意識の理解につながる。

そこから外れる世代的無意識、地域的無意識、個人的無意識の領域をいかに切り取るか？
が、作者の腕なのかも？

この「集団的無意識」と「個人的無意識」の話も、わたしが大昔にユングの本を読んだから知っている知識だ。

ユングの本自体は、集団的無意識の説明だったので、個人的無意識について、図しか書いてなかった。

個人的無意識はテーマじゃないから。

「でも見聞きしたことが蓄積されて、無意識に反映されるよね？」とずっと疑問に思っていたのだが、「それは集団的無意識の上に書いてあった個人的無意識のことなのかも？」とさっき気づいて言葉にできた。

答えを言われても、消化するまで分かんないことっていっぱいあるよねー。

キャラクターのアーキタイプは定番要素だから、説明されなくてもわかる。

しかし、そのキャラの経験から生まれる言動は、説明しないと分からない。

アーキタイプタイプとして主人公を英雄型にした場合、「目的を持って行動すること」は暗黙の了解が成り立つ。

キャラクターが目的を持つに至った「個人的経験」は具体的な描写を必要とする。

そして動機の具体的な描写は、物語のルールを決める。「A になったら、B をする」みたいならしさを作る。

キャラクターのルール。

世界観のルール。

この2つが揃って、読者が参加可能になる。

読者が予測しながら読めるようになる。

結果だけ描写されても、読者は参加できない。

たとえば、鬼滅の刃は、冒頭で「崖から落ちたが雪の上だったので死ななかった」という世界観のルールを明示している。

対して、ダンダダンには、殴られて血を吐いていても、次の瞬間はけろっとしてる。

それは特別な力があるからで、ない人が妖怪に丸のみされたら死にかける描写がある。

わたしの話に決定的に不足しているのは、ルールの明示なのかも。

なぜなら、自分がまったく理解せずに書いているから。

読者との約束ごとを見せて、読者が自由に想像する余地がない。

ただ作者の結論を聞かされるだけになってる。

短い話で、原画の連続みたいなスピードで進む場合はよい。

結論を次々押し付けられても、一瞬だから負担にならない。

しかし10万字くらいの長編で、聞き続けるだけで、予測する余地がないと苦しくなる。

ルールを明示して！なるよねー。

野人令嬢には、政治も宗教も出てくる。

しかしそれはあとの方で、最初は「日常の仕草」という形で描写される。

「神に祈る習慣がある」は、最初から繰り返しでてくる。

だから「やっぱり全能神に祈るよねー」「キリスト的な人？」みたいな想像をする。

後半で多神教的であることがわかる。

ビジネス書やポリティカルスキルについて知らなかったら、ついていけない話が、皇族になってから続く。

社交の意味は、下からの意見を吸い上げ、あらゆるケースを検討することにある。それが政治そのものであることが、今なら分かる。

なんでそれが政治なの？ と以前なら思っただろう。

わたしがビジネス書で得た知識を、働きながら書いてる作者は具体的に経験しているから、説得力があるわけね！

エリーが知りたくて、知ったら書きたかった政治や経済について、ちゃんと書いてあった。

そういう意味でもどストライクだった。

じゃあ、もう、そこは書かなくていいよね。

占い、心理学、宗教方面から書くなら、「人生に課題がある世界のルール」なのかもしれない。

グリーン教を復活させて、ゼロからやり直す？

光ちゃんを練習でかいたらやろうかな。光と等は好きなので形にしてあげたい。練習、必要だし。

結局、経営や社内政治という未経験な内容は、経験しないと分からないわたしには書けないだろう。

でも「人生に課題がある」という生き方の問題は、虚弱体質で統合失調症というハンデを背負っても、「やれることをやる」という意義につながる。経験している話だから書けるだろう。

ああー、だから描写に感じたことを入れないといけないのか！

小説は創作で作り話だけど、キャラクターの感情は現実より濃く、集団的無意識から生まれるから。

存在した英雄は、感情を知っているから叙事詩でもいいが、創作されたキャラクターは叙情詩で個人的無意識を表現しないとダメなのね。

アーキタイプ (元型) からくる集団的無意識に当てはまってほしいが、

元型の延長線上に発展させた個人的無意識を描写してほしいわけね。

なら、集団的無意識と個人的無意識が対立してるとどうなる？

キャラクターのブレにうつる？

集団的無意識と個人的無意識20241208

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
